

# 自衛策にドラレコ 一定の需要



「あおり運転」への自衛策として、自動車のフロントガラスなどに設置して外の様子を映像で記録する「ドライブレコーダー(ドラレコ)」が人気だ。県内に販売店では、2017年に神奈川県東名高速で起きた夫婦死亡事故や19年の茨城県常磐道でのあおり運転事件直後から注文が相次ぎ、現在も一定の需要があるという。

大手カー用品店「ジェームス敷島店」(前橋市)では約30種類をそろえた専門売り場を設置している。同店の宇田佳史さんは「事故の際に説明がしやすいという声も。設置をきっかけに『下手な運転はできないね』と安全運転を心がけるお客さまもいる」と話す。

車両関連製品の開発や生産、販売を行う「ワイテックス」(太田市)では、前方360度、後方155度と広範囲に撮影できるドラレコ「DVR-360-2」が好評だ。

同社の相沢伸幸相談役は使用上の注意として、「記録媒体のSSDカードは消耗品。定期的な交換をおすすめ。こまめにデータの初期化をしてほし」と呼びかけている。

【菊池陽南子】  
店内にはドライブレコーダーのコーナーが設けられている。ジェームス敷島店で